スケッチ 『クラッシュ』

Carrot Inc.

【概要】

F1を取材にきたレポーター。しかしサーキットを走るのはF1マシンではなく様々な金融危機。

【時間】

約2分

【出演】

■人数：5人

レポーター

観客4人

【撮影場所】

■シーン数：1

サーキット

【脚本】

フォーミュラー1の観客席。

リポーター「はい。こちら佐藤です。フォーミュラー1、鈴鹿サーキットのレースは既に終盤に差しかかっています。まもなく最終コーナーを曲がって金融危機が迫ってくるところです。レース序盤から応援しているサポーターにインタビューしてみましょう。お兄さん、今回のレースはどうですかね」

観客A「そうだね。戦後から何回も破綻しそうになって、破綻しなかった。今回、その瞬間に立ち会えるなんて奇跡のようだ」

リポーター「なるほど。では、こちらのお兄さん。ずばり見所は？」

観客B「見所はリーマンブラザーズだね。独特のハンドリングを巧妙に駆使してショックを起こすんだよ。あんなにスリリングなのはない。おっ。来たみたいだ（最終コーナーを見る）」

リポーター「おっと。ついに最終コーナーを曲がってきました。まず最初に来たのは世界大恐慌だ！世界大恐慌がきました！ダウ平均株価が最速で下がってゴール！！世界大恐慌に陥りました！　次にやってきたのはリーマン・ショック！！リーマン・ショックが現れました。これは凄い勢いで住宅ローンが貸し付けられていきます！デリバティブ！デリバティブ！デリバティブが世界中の投資家に拡散してゴール！！リーマン・ショックが起きました！！続々とサブプライム住宅が差し押さえられていきます。　そして、次は青い色をしたギリシャだ！ギリシャがきた！歳出増やし、福利厚生へ！歳出増やし、福利厚生へ！純貯蓄率がGDPの7%まで減少してゴール！！ギリシャ神話が崩壊し、続々とソクラテスにデモ隊が突っ込んでいきます！　おお！そして、すかさず姿を除かせたマシンはまさかの日本だ！日本が第4位に食い込むとは誰が思いましたでしょうか！！GDP比ダントツの財政赤字がマシンの燃料となり、高速でゴール！！日本が破綻、日本が破綻しました。その他にも様々な信用収縮が高速でゴールを迎えて行きます。どうでしたか？この走行は？」

観客A「あんなにブレずに一直線で日本が破綻していくとは思わなかった。臨場感はあるのだけど、まるで夢のようだ」

観客B「最終コーナー曲がってからが以外に早くて心の準備ができなかったよ」

観客D「未曾有の早さだったね」

観客全員「未曾有の早さだった」

観客C「で、どーしたら良いんだろう。俺たちは。全く実感がわかないな」

観客D「とりあえず俺は家のガスの元栓をしめてこよっかな。何か怖いわ。」

観客A「俺は母ちゃんに知らせてこなくちゃ。日本の破綻を。じゃあ、またあとで」

（観客達が足早で解散する）

リポーター「以上。フォーミュラー1でした」